

町民の皆さまの笑顔を常に思い

愛を胸に邁進します



町民の皆さまにおかれましては、希望と輝きに満ちた新年を迎え、健やかにお過ごしのことと心からお慶び申し上げます。平素は、町政全般にわたり温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年を振り返ってみますと、令和4年9月発生台風第15号災害が町に残した爪痕の大きさや、新型コロナウイルスの感染拡大を経験し変化する社会の様子を大いに実感し、安心・安全なまちづくりに対する思いをあらためて強くした1年でありました。

なお、現在一部区間の運行となつている大井川鐵道本線に關しましては、全線復旧に向けて国や県を中心とした検討会が設立され、町も協議を進めているところであります。「大井川鐵道全線復旧を支援する会」の皆さまによる署名活動をはじめ、多くの関係者の皆さまによる各方面での取組を深く受け止めているところです。こうした状況ではありますが、町も島田市をはじめ近隣市町と連携し、コロナ禍で注目されるようになったアウトドアや自然を活用したアクティビティーなどの魅力を積極的

に発信し、大井川流域の賑わい創出と誘客事業を進めて参ります。

昨年11月には、川根本町や島田市川根町の住民など、有志の皆さまを中心とする「SUN川根スタンドアップ！プロジェクト」が、「挑戦できるまち」を創り上げようと、旧中川根第一小学校グラウンドにて「耐久サッカー」の世界記録の更新を目指すイベントを開催しました。町内外問わずともからお年寄りまで幅広い世代の皆さまが集まり、最終的には2371人も参加をいただいたことに、深い感銘を受けました。関係者の皆さまに深い感謝を申し上げます。

私は、「まちづくり」は「人づくり」であると考えています。「人を大切にするまち」「人を喜ばせるまち」には、人が集まります。町内外から集まった皆さまの活躍できる場がこの町にあり、そこで生み出された魅力と活力が発信されることで、さらに多くの方々がこの町にお越しいただけると考えております。町としましては、春夏秋冬の四季を通してにぎわい創出に向けたさまざまなイベントを実施し、皆さまと連携して

町長今年の1字



交流人口の増加を図っていきたくと考えております。

また私は、町民の皆さま一人ひとりが豊かな心をお持ちであることに、この町の素晴らしさを感じております。加えて、お茶、ゆず、シイタケなどの良質な農産物を育む豊かな自然も強みです。こうした町の自慢である温かい人間性と恵まれた自然環境を活かしながら、町民の皆さまが「住み続けたい」と思えるまちづくりを進めるため、定住・移住施策を本年も引き続き展開してまいります。

新年を迎えるにあたり、私の不変の思いである「未来・創造をつなげるまちづくり」への決意を新たにするとあります。常に自身自身に「問い続ける」ことを忘れず、「川根本町愛」を胸に、千年先も続く町を目指して懸命に取り組んでまいります。

最後になりましたが、引き続き、町民の皆さまのご協力と参画・協働をお願いいたしますとともに、令和6年の干支である「辰」のごとく上昇し、飛躍の1年となりますことをご祈念申し上げます。新春のごあいさつといたします。

川根本町長 蘭田靖邦

